

パパ・ママ座談会

就職・転職を考える中で、「子育てと仕事を両立できるか」は就職先選びの大切なポイントのひとつではないでしょうか。

今回の座談会では、子育てをしながら働く職員が集まり、日々の働き方や制度の活用、周囲のサポート、仕事と家庭の両立で感じていることなどをテーマに率直に語り合いました。

これからライフステージが変わっていく方、子育てをしながら転職を考えている方の参考になればと思います。

なお、個人が特定されないように掲載しています。何卒、ご了承ください。



Aさん（事務）



お子様 3 人



Bさん（事務）



お子様 1 人



Cさん（電気）



お子様 4 人

01 今の勤務形態を教えてください。



時差出勤をしています。通常は 8：30～17：15 勤務のところを、1 時間時差出勤をしているため 9：30～18：15 で勤務しています。

子どもが生まれるときやまだ小さい頃は、産休と育休を取得しました。

育児短時間勤務をしています。通常は 17：15 まで勤務ですが、45 分短くして 16：30 に退勤しています。子どもが生まれたときは 3 カ月育休を取得しました。



育児時短勤務をしています。

僕の場合は、8：30 から出勤のところを 45 分遅くして 9：15 に出勤しています。



02 夫婦（パートナー）間ではどう役割分担していますか？ ——



朝は私が朝食や子どもの見送りをしてから出勤しています。
夜は夫に定時で帰ってもらって、夜ご飯を作ってもらっています。

子どもたちの朝食や、保育園の準備を担当しています。
僕が子どもたちにご飯を食べさせている間に、妻が支度をする時間を作っています。
それから、子どもの懇談は僕が行くようにしていますね。
参観日は夫婦で行きます。昔は参観日といえばお母さんがメインでくるイメージでしたが、今はお父さんも結構いますよ。



日中は育休中の妻に子育てや家事を任せてしまっているのですが、夕方帰宅してからは僕が子どもをお風呂にいれて、夜ご飯を担当しています。

—— 03 仕事と子育てのバランスはどのようにとっていますか？



土日は子どもを連れて外に遊びに行きます。
この間、植物園に行ったらばったり会ったよね！

そうそう、まさか植物園で会うとは。
僕も土日は外に出かけることが多いです。
子どもがいないときは、土曜日は外出して日曜日は家でだらだらすることが多かったのですが。
子どもと外に出かけることが僕にとっても、妻にとってもいいリフレッシュになっているんじゃないかな。



平日はどうしても子どもと接する時間が短くなってしまうので、私も土日は基本的におでかけします。最近は上の子がおでかけよりもゲームに夢中なので、少し寂しいですが。。



04 休暇を取ることに關して、周りのサポートはどうですか？

夏に3カ月育児休暇を取得しました。

僕の担当が決算や資金なのですが、ちょうどそれらが落ち着いたタイミングだったので取得しやすい時期でした。3カ月も職場を離れることに不安もあったのですが、周りが取得しやすい環境を作ってくれたことに感謝しています。

工事が進んで忙しい部署でも育児休暇を取得しているので、公社全体で休暇を取りやすい環境が整っていると思います。



私が産休・育休を取得した時は、用地課にいてペアで動く仕事為主でした。

そのため、ひとりで担当している業務がなかったことで長期に離れることに周りもそこまで影響はなかったと思います。

ただ、私が公社初の産休・育休取得者だったんですよ。だから取得する側も事務を行う側も初めてのことでただで少しバタバタしたのを覚えています。



今の部署は、ちょうど同じ年代の人たちが集まっているので僕と同じように育児時短勤務をしている職員が他にもたくさんいます。

時短勤務に合わせて、協議を調整してくれたり周りの配慮に助けられています。

僕は転職して公社に入社しました。育児休暇等の制度は前の職場と大きな違いはないですが、休暇の取得しやすさで比較すると公社の方が圧倒的に取りやすいですね。



05 公社の制度で改善してほしいこと、休暇を取るにあたって不安・悩みはありますか？

子どもの看護休暇が1人につき年5日取得することができますが、病気が続くと日数が足りず年次有給休暇で取得することになります。子どもの病気が長引いたときに心配ですね。

また、産休・育休で休みが長いとその間に会社の制度や人も変わってしまうので復帰するときに少し不安でした。



たしかに、子どもがインフルエンザ等にかかってしまうと5日はあっという間に消化してしまいますよね。

僕はどうしてもやらなければいけない仕事があるときに、仕事を残して帰るべきか悩むときがあります。



今、私がいる部署では、主担当とか関係なく相互補完しながら仕事ができているので助かっています。

それがどこの部署でもフォローに入れる係内の分担ができていればもっとよくなりますよね。



06 最後に会社の採用試験を考えている方へメッセージをください。 ——



僕は転職して家族の時間が増えました。妻も子どもも喜んでいます。
公社は子育てだけでなく、年次有給休暇も取得しやすい職場環境ですよ。

公社固有職員の育児休暇取得の実績はまだ浅いと思います。
さらに働きやすい職場環境を一緒に作っていきましょう！



制度も整っていて上司の理解も進んでいます。
休暇をしっかり取得して仕事と子育ての両立を一緒に頑張りましょう！



—— おわりに

総務課採用担当のYです。

若手職員座談会に続き、今回は公社で働くパパ・ママを集めて座談会を行いました。職場ではなかなか見られない、パパ・ママそれぞれの素顔や想いが語られ、終始和やかな時間となりました。

仕事と家庭を両立しながら働く姿は、参加者同士にとっても新たな気づきや共感につながったように感じます。

公社には制度があるだけでなく、互いに支えあい、理解し合える職場の雰囲気があること。この座談会を通して、公社の「働きやすさ」を感じていただければ幸いです。

本掲載が採用試験を検討されている方にとって、入社後の働き方を具体的にイメージするきっかけとなり、また、現在公社で働いている職員にとってもひとつのモデルや励みになればと思います。

《採用試験についてのお問い合わせ》

メール：recruit@h-exp.or.jp

電話：082-508-6848（平日 8 時 30 分から 17 時 15 分まで）